

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

事業所番号	3990600029
法人名	社会福祉法人 香南会
事業所名	やまざくらの里
訪問調査日	平成19年 6月 28日
評価確定日	平成19年 9月 27日
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会

○項目番号について
 外部評価は30項目です。
 「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。
 「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。
 番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

○記入方法
 [取り組みの事実]
 ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。
 [取り組みを期待したい項目]
 確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。
 [取り組みを期待したい内容]
 「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明
 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
 家族 = 家族に限定しています。
 運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者（経営者と同義）を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。
 職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。
 チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	3990600029
法人名	社会福祉法人 香南会
事業所名	グループホームやまざくらの里
所在地 (電話番号)	高知県須崎市安和中ノ川内693番地 (電話) 0889-40-4666

評価機関名	高知県社会福祉協議会 地域密着型サービス事業所外部評価		
所在地	高知市朝倉戊375-1		
訪問調査日	2019年6月28日	評価確定日	

【情報提供票より】(19年 5月 1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成18	年7	月1	日	
ユニット数	2	ユニット	利用定員数計	18	人
職員数	15	人	常勤7人, 非常勤8人, 常勤換算	12.6	人

(2) 建物概要

建物形態	併設 単独	新築 / 改築
建物構造	木造平屋造り	
	1階建ての	階 ~ 1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	10,000	円	その他の経費(月額)	実費	円
敷金	無				
保証金の有無 (入居一時金含む)	無		有りの場合 償却の有無		
食材料費	朝食		円	昼食	円
	夕食		円	おやつ	円
	または1日当たり		800		

(4) 利用者の概要(6月28日現在)

利用者人数	18	名	男性	3	名	女性	15	名	
要介護1	5	名	要介護2	7	名				
要介護3	6	名	要介護4		名				
要介護5		名	要支援2		名				
年齢	平均	85.1	歳	最低	59	歳	最高	96	歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	ネオリゾートちひろ病院・野中歯科	2
---------	------------------	---

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

地域密着型グループホームとして、18年7月1日に開所している。町の中心地から数分の場所にありながら、閑静で、周辺の民家と調和のとれた温かさ、ぬくもりのある建物である。敷地内には、利用者と一緒に植えた季節の花や、旬を迎えた野菜が元気よく育てられていた。地区内の保育園、小学校との交流も深まり、行事の時は連絡をいただき、できるだけ多くの利用者と参加するようにしている。事業所にも小学生が訪室され、職場体験では、利用者とは折り紙などして楽しんだ。今後も、馴染みの人間関係の継続、地域や自然に触れあいながら、ほっと安らげる暮らしが継続されることを期待する。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目 ①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	今回は初めての外部評価である。
重点項目 ②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	管理者は、評価の意義や目的を全職員に伝え、職員は話し合いながら取り組んでいる。
重点項目 ③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	2ヵ月に1回の運営推進会議も軌道にのっている。会議では意見も積極的に出るようになった。今後は、参加メンバーについては、家族会の方とも話し合いながらメンバーの交代も考慮に入れている。地域に対して、より一層のホームへの理解、協力、交流が深まるように努めている。
重点項目 ④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	現在までは、家族からの苦情、意見などはない。申し立て方法は、入居時に十分な説明も行い、ホーム内にも掲示している。家族には、家族会、訪問時など機会をみては、何でも話せる雰囲気づくりに留意している。今後も、些細な気づき、意見、相談など大切な情報として、運営に反映されることを期待する。
重点項目 ⑤	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	日常的には、散歩の時には必ず挨拶をするよう心掛けている。地区内の保育園、小学校との交流も深まりつつある。地区長さんの理解も得られている。

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容 ・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	<input checked="" type="checkbox"/> 事業所独自の理念がある。 [開所時に、全職員が話し合いをして作成した事業所独自の理念がある。] <input type="checkbox"/> これまでの理念に加え、地域密着型サービスとしての役割を目指した内容である。 [地域密着型の意義は認識できているが、理念の中に具体的なイメージが掲示されていない。]	<input type="radio"/>	地域での安心した暮らし、地域生活の継続を支えるための理念の作成を期待する。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 理念について職員間で話し合いの機会をもち、意識づけがされている。 [職員は、日々理念を念頭におきながら、利用者の希望に沿えるよう意識づけはされている。職員の採用時には必ず理念を伝え、理解をしてもらうようにしている。] <input checked="" type="checkbox"/> 日々のサービスの提供場面(言葉かけ、態度、記録等)において、理念が反映されている。 [管理者と職員は理念を共有し、日々「寄り添いながら」という気持ちで取り組んでいる。]		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	<input type="checkbox"/> 地域住民の一員として、町会、自治会等に参加している。 [地区長さんとの連絡は密にとれているが、自治会には加入していない。] <input checked="" type="checkbox"/> リサイクル活動や行事など地域活動の情報を集め、それらに参加するなど、接点を持つ努力をしている。 [地域の行事などには積極的に参加し、保育園児、小学生との交流もある。]	<input type="radio"/>	住民の一員であるという認識を深め、住民の方からも、より利用者への理解を深めてもらう意味でも、自治会への加入も検討を期待されたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> サービス評価を実施するにあたり、評価の意義とねらいについて運営者、管理者、職員で話し合い、全員で自己評価に取り組んでいる。 [自己評価を全員で行い、サービスの質の向上に努めている。評価を前向きにとらえている。] <input type="checkbox"/> 評価で見出された課題について改善計画を立て、その実施に取り組んでいる。 [今回がはじめての外部評価である。]		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容 ・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<input checked="" type="checkbox"/> 会議では、事業所からの報告とともに参加メンバーから質問、意見、要望を受け、双方向的な会議となるよう配慮している。 [2か月に1回行い、メンバーからは積極的に意見が出ている。会議の活性化のため、時期を見ながらメンバーの交代も視野に入れている。] <input checked="" type="checkbox"/> 評価で明らかになった課題について会議で報告し、改善に向けて取り組んでいる。 [課題については、取り組み内容などその場で話し合う事もある。]	○	推進会議で出された意見について、取り組み結果を、次回会議に書面で報告するなどの工夫により、効率的で活発な会議の運営を期待する。
6	9	○市町村との連携 事業者は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村職員の研修場所として事業所を活用してもらったり、また市町村担当窓口に対して、事業所の実情やケアサービスの取り組みを折に触れて伝えるなど交流を図っている。 [市が開催するケア会議には参加するほか、管轄内の関連施設の管理者からの情報も得ている。3か月に1回介護相談員の訪問もある。]		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 家族等の来訪時には声をかけ、利用者の状況や家族のことについて話し合っている。 [家族が訪問し易い雰囲気、話しやすい雰囲気づくりに心掛けている。] <input checked="" type="checkbox"/> 利用者の事業所での暮らしぶりやエピソードなど、手紙や写真等で伝えている。 [毎月のお便りには、ホーム全体のこと、また個別の近況報告をしている。] <input checked="" type="checkbox"/> 心身の状況について、何らかの変化や問題が起きた時に必ず報告されている。 [来訪時のみならず、心身の変化などについては、その都度速やかに電話連絡をしている。] <input checked="" type="checkbox"/> 金銭について、使途の確認や金銭出納帳等を明示し、その都度あるいは定期的に報告している。 [自己管理が困難な方が大半である。事業所が預金通帳管理をし、家族には領収書を渡している。]		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input checked="" type="checkbox"/> 家族会や家族同士の集まりの場で意見を出せるような仕組みを作っている。 [家族会の要望で、年3～4回、参加し易いように週末に行っている。その他、行事などの時も含め、話しやすく、意見を出しやすい雰囲気づくりに努めている。] <input checked="" type="checkbox"/> 苦情への対応で終わりではなく、その苦情の発生要因を探り、課題を検討し、質の向上をめざす取り組みをしている。 [苦情相談マニュアルは作成されている。現在まで苦情はない。]	○	苦情までに至らない意見・相談などは、サービスの質の確保・向上を図る上での大切な宝と捉え、些細な意見でも記録に残し、職員が共有し、サービスに反映できることを期待する。
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者にとって馴染みの職員が継続的に支える体制となっている。 [開所以来、職員の異動はない。ホーム内のユニットでの異動はあるが、馴染みの関係は構築されている。] <input type="checkbox"/> 職員が代わるときは、引き継ぎの期間を十分に取り、スムーズに移行できるように配慮している。 [現在のところ職員の退職交替がない。]		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容 ・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input checked="" type="checkbox"/> 日常的に学ぶことを推進し、パート職員にもチームの一員として、研修・会議等参加の機会がある。 [法人の行う研修には交替で毎月参加している。その他、研修・会議など希望者には出席することを徹底している。] <input checked="" type="checkbox"/> 全職員が共有できるよう、研修内容を報告する機会を作っている。 [研修の資料と復命書で、全職員が共有できるシステムである。]		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 県内、全国組織の同業者ネットワークに加入し、サービスや職員の質向上につなげている。 [入会し、質向上につなげるよう努めている。] <input type="checkbox"/> 管理者・職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、職員のサービスや質向上に努めている。 [法人内のグループホームとの交流は多いが、地域内の他のホームとの交流は十分でない。]	○	法人は多くのグループホームを経営していることから法人内での交流は行われているが、事業所外の関係者の意見や情報も得て、さらなる質の向上・サービスの提供を期待する。
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	<input checked="" type="checkbox"/> 入居希望者の入居に際し、その者の心身の状況、生活歴、病歴等の把握に努めている。 [入居前に生活歴、身体の状態など確認している。] <input checked="" type="checkbox"/> 本人や家族に事業所の見学や体験をしてもらっている。 [希望者には、ホームの見学は自由に行ってもらっている。体験入居は現在までない。] <input type="checkbox"/> 入居希望者には、管理者と職員が面接を行っている。 [管理者が面接を行い、決定してから職員に報告している。]	○	職員の異動もなく、利用者の把握はできているが、歩んできた生活歴の記録は、利用者をより深く理解し、ケアの向上に繋がるため、フェイスシートの作成など、情報の把握と共有を期待したい。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	<input checked="" type="checkbox"/> 日々の生活場面の中で、利用者を支援されるのみの立場にはおいていない。 [本人の思い、不安、喜びなどを知ることに努めている。] <input checked="" type="checkbox"/> 支援する側、される側という意識は持たず、お互いが協働しながら和やかな生活ができるような場面作りがある。 [できることはしてもらい、できそうにないことには手をさしのべるという気持ちで支援をしている] <input checked="" type="checkbox"/> 利用者から生活の技や生活文化の大事さを教えてもらう場面がある。 [料理等の場面では、利用者から教わることが多い。]		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容 ・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの思い・暮らし方の希望・意向の把握に努めている。 [日々の関わりの中で表情などから、希望・意向の把握に努めている。] <input checked="" type="checkbox"/> 意思疎通が困難な方には、ご家族や関係者から情報を得るようにしている。 [面会時などに家族に状況報告をし、又、家族からの情報も共有しながら、よりよい暮らしの継続に努めている。]		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	<input checked="" type="checkbox"/> 本人やご家族等からの気づき、意見、要望等を反映した介護計画が作成されている。 [家族からの気づきや意見などを、家族会や来訪の際に聞き取り介護計画に反映している。] <input checked="" type="checkbox"/> アセスメントを含め職員全員で意見交換やモニタリング、カンファレンスを行っている。 [職員会でカンファレンスを行い、それぞれの意見を取り入れ、介護計画の作成に活かしている。]		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	<input checked="" type="checkbox"/> 介護計画は、設定された期間ごとに見直しされている。 [毎月の職員会、カンファレンスで現状に即した介護計画の見直しに努めている。] <input checked="" type="checkbox"/> 本人、家族の要望や状態に変化が生じた場合には、その都度見直しされている。 [本人の状態の変化や、家族の要望を踏まえて、随時見直しをしている。] <input checked="" type="checkbox"/> ワンパターンの期間設定ではなく、本人の状態や計画内容に応じた個別の期間設定をしている。 [基本的には3ヶ月で見直しているが、本人の状態等に応じ個別に対応している。]		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 医療処置を受けながらの生活が継続できるように努めている。 [医療連携体制などを活かし、利用者、家族が安心して生活が継続できるように支援している。] <input checked="" type="checkbox"/> 重度化した場合や終末期も事業所でケアを提供している。 [入居時に本人や家族と、重度化した場合や終末期のケアについては、十分話し合いをしている。] <input checked="" type="checkbox"/> 特別な外出、通院や送迎、外泊などの支援を行っている。 [協力医療機関への受診の際は、送迎をしている。]		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容 ・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> いままでのかかりつけ医や本人、家族等が希望する医療機関・医師に受診できる支援ができています。 〔本人、家族との話し合いで、協力医療機関に変更した方もいる。往診も可能であり支援は良い。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 受診や通院は、本人やご家族の希望に応じて対応している。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> 受診結果に関する情報の共有ができています。 〔 〕		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	<input checked="" type="checkbox"/> 終末期の対応方針を定め、家族・医師・看護師を交えて話し合いを行っている。 〔法人において重度化した際の指針を決めている。家族にも説明し、かかりつけ医との連携もよい。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 本人や家族の意向を踏まえ、医師、職員が連携をとり、安心して納得した最期が迎えられるように取り組んでいる。 〔医療機関との連携は円滑にとれており、家族の理解も得られている。〕		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	<input checked="" type="checkbox"/> 人前であからさまに介護したり、誘導の声かけをして、本人を傷つけてしまわないように、目立たずさりげない言葉がけや対応に配慮している。 〔毎月の職員会で、職員の意識向上を図るとともに、プライバシーの保護は徹底している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 他の家族や外来者に対して、職員が利用者のプライバシーに関することは話さないことを徹底している。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> 全ての職員が、個人情報保護法の理解に努め、徹底されている。 〔 〕		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの「その日」にしたいこと(買い物や散歩等)を把握し、それに応じて柔軟に支援している。 〔日々の関わりのなかで、会話、表情などから気持ちを読みとり、柔軟に支援されている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 事業所の業務スケジュールに利用者の生活を合わせていない。 〔基本的にはスケジュールに基づいているが、個別性のある支援を行っている。〕		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容 ・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 献立づくりから調理、片付けに至るまで、食事に関する一連の流れを職員が一方的に進めるのではなく、利用者の意志や気持ちを大切にしている。 〔献立は法人の栄養士が立てている。畑の野菜の収穫、調理などは、職員と利用者が一緒に行っている。〕 <input type="checkbox"/> 職員は食事介助のみではなく、利用者と職員が同じものを一緒に食べている。 〔職員はお弁当の方もいるが、楽しく食事のできる雰囲気である。〕	○	食事中、職員が台所で洗い物をしている場面が見られた。大半の利用者がまだ食事中であったが、歯磨きの誘導場面もあった。効率は良いと思うが、食事を楽しむ支援への配慮を期待する。
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者のこれまでの生活習慣や希望にあわせて入浴できるよう、職員勤務体制等について工夫をしている。 〔本人の希望に合わせて、毎日入浴できるよう支援している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 入浴を拒む人に対しては、言葉かけや対応の工夫、チームプレー等によって一人ひとりにあわせた入浴支援を行っている。 〔入浴を拒む方に対しては、時間をずらせたり、言葉掛けで対応している。〕		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 何がその人の役割、楽しみごとになり得るかを把握している。 〔利用者の過去の経験などを把握しながら、場面設定をし支援をしている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 食事作りや庭木の剪定など利用者の経験や知恵を発揮する場面を作っている。 〔調理、畑の作物の手入れ、取り入れ、洗濯たたみなど発揮できる場面は作っている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの役割、楽しみごと等を作り出す働きかけを行っている。 〔職員は、その人の特徴を把握しており、それぞれの場面づくりを利用者と話し合いながら行っている。〕		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 近くへの散歩だけではなく、その人の馴染みの店や場所へ出かけている。 〔希望者は行きつけのスーパーに出かけるなど、外出の支援を行っている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 歩行困難なケースでも、車や車いす等を利用し、戸外へ出ることを積極的に行っている。 〔車椅子の方も積極的に外出している。遠方へは車で出かけている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 日常的に散歩、買い物あるいはドライブ等に出かけている。 〔日常的に散歩、買い物に出かけている。ドライブを好む方が多く、気分転換を図っている。〕		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容 ・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 居室や日中玄関に鍵をかけていない。 〔利用者一人ひとりの外出の習慣や傾向を把握して、対応している。〔利用者が出出しそうな時は、さりげなく声をかけ、同行するなどしている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 近所の人にも理解を求め、見守り、声かけや連絡をしてもらえる関係を築いている。 〔散歩の時には必ず挨拶をし、日頃から地域の方との交流を深めるよう努力している。〕		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	<input checked="" type="checkbox"/> 事業所だけの訓練ではなく、地域住民の参加、協力を得ながら避難訓練等を定期的実施している。 〔消防署の協力を得て、避難、消火訓練を行っている。〕 <input type="checkbox"/> 避難路の確保(整理整頓)や消火器等の設備点検を定期的に行うとともに、非常用食料・備品を準備している。 〔消火器の点検は定期的に行い、避難経路の確保はできている。〕	○	民生委員からの提案により、事業所各棟に防災無線を設置している。災害を想定した夜間訓練、災害に備えた非常用食料などの準備が求められる。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの一日の栄養摂取総量や水分量を把握している。 〔カロリー計算はできており、食事の摂取量や水分量のチェックは一覧表にして状況把握や情報の共有が出来ている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの嗜好を把握し、献立に採り入れながら、栄養バランスにも配慮している。 〔季節の野菜の頂き物、ホーム内の畑で採取した野菜など、副食として食している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 定期的に、栄養士や保健師等に専門的な観点からチェックしてもらっている。 〔管理栄養士の立てた献立表に基づき食事を作っているが、連携もとれている。〕		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容 ・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者にとって使いやすい配置や馴染みの物を採り入れた共用空間になっている。 [畳のコーナー、適宜に置かれた椅子など、居場所の確保ができる共用空間になっている。] <input checked="" type="checkbox"/> 天井や壁面に掛けられた折り紙等の飾り付けが、家庭的な雰囲気を壊していない。 [利用者と一緒に作った作品を飾っていたが、家庭的な雰囲気であった。] <input checked="" type="checkbox"/> 季節感のある装飾等に工夫するなど、季節感や五感の刺激にも配慮している。 [リビングには七夕の飾り付けがあり、玄関をはじめ、コーナーの空間には季節の花が活けられ、温かさが伝わってきた。]		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 使い慣れた馴染みの物を傍に置くなど、本人や家族と相談しながら個別に工夫されている。 [馴染みの物を持参してもらうよう、家族には話しかけるなど、その人らしい居室づくりを支援している。] <input checked="" type="checkbox"/> 家族の協力が得られない等の場合でも、本人の意向を確認しながら、その人らしく居心地のよい居室づくりに取り組まれている。 [職員は、居心地良い居室になるよう努力している。]		